

原子力発電への基本的見解 (9 月 31 日)

1. 原子力発電について

〈意見〉

- A. やめるべきだ
- B. 続けるべきだ

【意見】昨年3月11日に発生した福島原発事故により、原発はいったん事故が起こったら取り返しがつかない放射能被害をもたらすことが改めて明らかになった。たとえ事故が起こらなくても、使用済み核燃料の問題、被曝労働者の問題などは原発がある限り解決できない問題である。また、核燃料サイクル施設の存続は、核兵器開発への道を温存することにもつながる。原発は百害あって一利なし。やめるべきである。

2. 現在ある原発について

〈意見〉

- A. 稼働をさせない
- B. 稼働すべきだ

(年)

【意見】「ストレステスト」は安全性の根拠にはならない。また、日本は地震多発国であり、そもそも原発をつくるべきではない。再稼働した大飯原発をはじめ複数の原発の直下には活断層がある可能性があり、専門家による詳細な調査が必要である。加えて使用済み核燃料は処理方法が決まらないまま飽和状態となっており、再稼働は捨て場所のない使用済み核燃料を増やすことになる。今夏の電力供給は原発なしで足りたことも明らかになった。大飯をストップし、その他の原発を稼働させず、自然エネルギーへの早期転換を図るべき。

<p>〈氏名〉</p> <p style="font-size: 2em;">服部良一</p> <p style="text-align: right;">(衆) 参</p>	<p>〈選挙区〉</p> <p>比例近畿</p>
<p>連絡</p>	<p>〈TEL〉 03-3508-7096 〈メール〉 info@hattori-ryoichi.gr.jp</p>